

はじめに

このガイドを使って、壊れたLEDドライバーボードを交換します。

ツール:

- 高荷重用吸盤カップ(2個セット) (1)
- T10 トルクスドライバー (1)

部品:

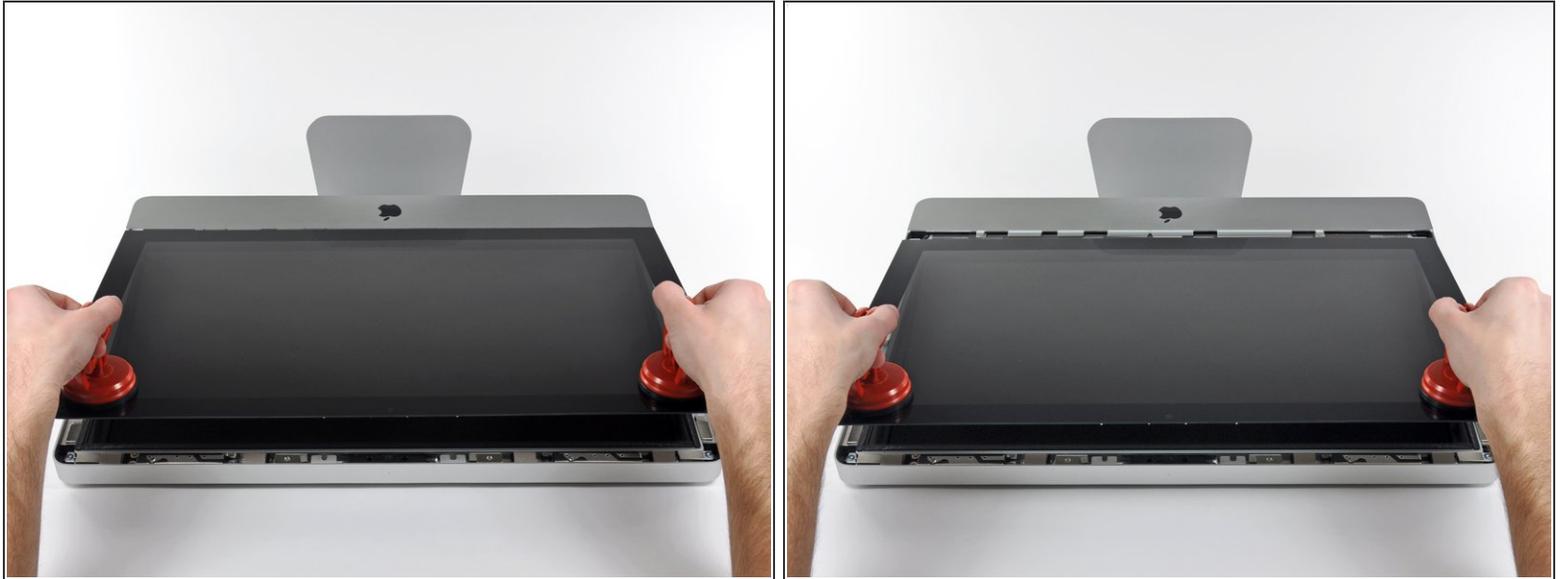
- iMac Intel 21.5" (EMC No. 2428) LED Driver Board (1)

手順 1 — ガラスパネル



- ① 作業を始める前に、iMacの電源を切り、画像のように本体を倒して、柔らかい表面上に載せてください。
 - ガラスパネルの上部コーナーの2箇所に吸盤カップを取り付けます。
- ① iFixitが販売している[吸盤カップ](#)を取り付けるには、まず吸盤カップの持ち手ハンドルをガラスパネルの表面に対して水平になるように上げてください。ガラスに吸盤カップを軽く装着して、もう一方のハンドルも平行になるように上げてください。
 - 吸盤カップがうまく装着しない場合は、ガラスパネルと吸盤カップを中性洗剤などで綺麗に拭き取ってください。

手順 2



- ゆっくりとガラスパネルをLCD表面に垂直になるように持ち上げて、スチール製のマウントピン
 - ガラスパネルをiMacの底側端から引き抜き、丁寧に脇に置いてください。
- ☑ 再組み立ての際には、ガラスパネルの内側やLCD表面を綺麗に拭いてください。デバイスの電源を入れると、ほこりや指紋が内部に閉じ込められ、視界が遮られてしまうことがあります。

手順 3 — ディスプレイ



- アウターケースにディスプレイを固定している8 mm T10トルクスネジを8本外します。
- ⓘ 最後2枚の画像はディスプレイ両サイドの詳細な様子です。

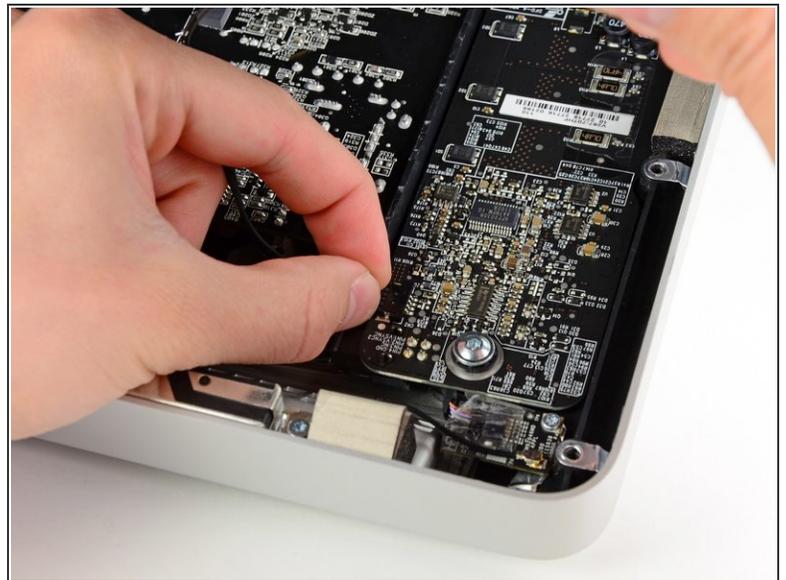
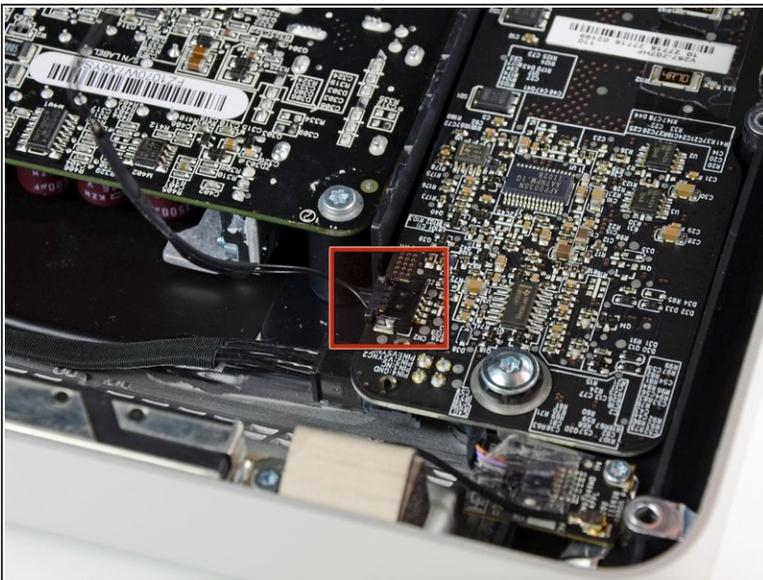
手順 4



- アウターケースからディスプレイの上部端をわずかに持ち上げます。

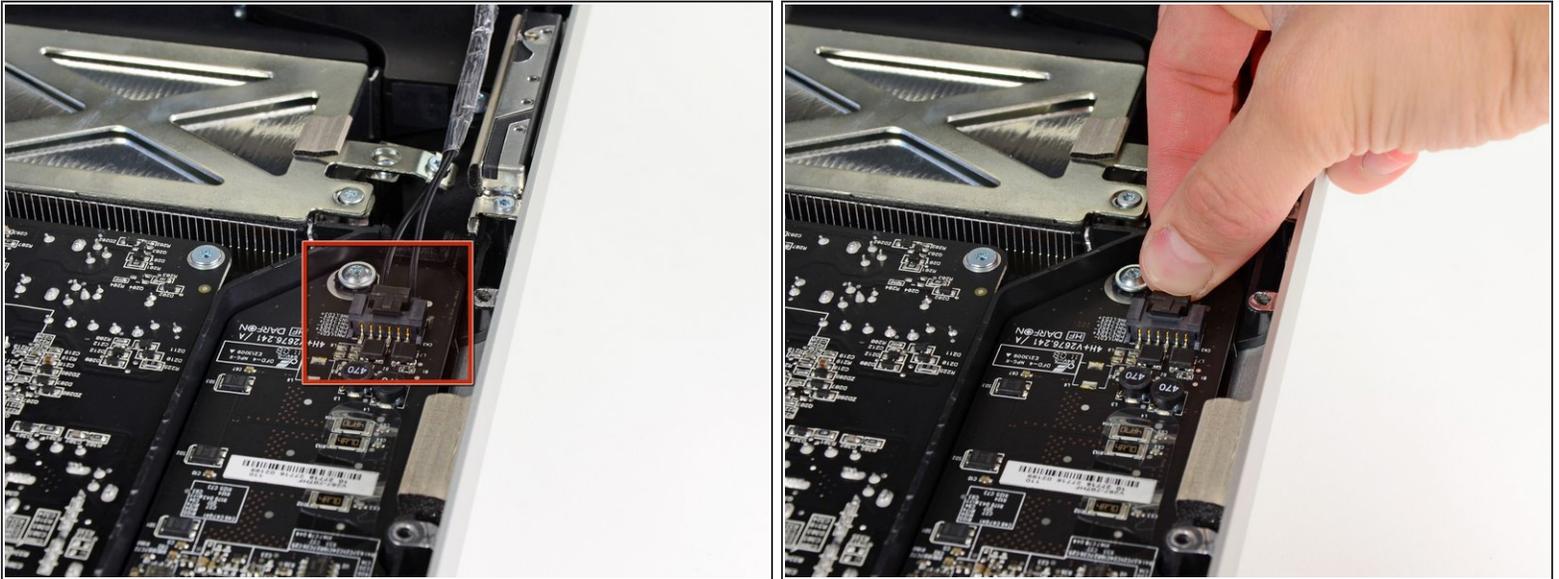
! あまり高く持ち上げすぎないでください。ディスプレイとロジックボードには数本のケーブルが接続されたままです。ケーブルが付いたままディスプレイアセンブリをひねったり、引っ張るとiMac本体にダメージを与えてしまいます。

手順 5



- iMacの左上隅付近にあるLEDドライバボードのソケットから垂直同期ケーブルコネクタを引き抜きます。

手順 6



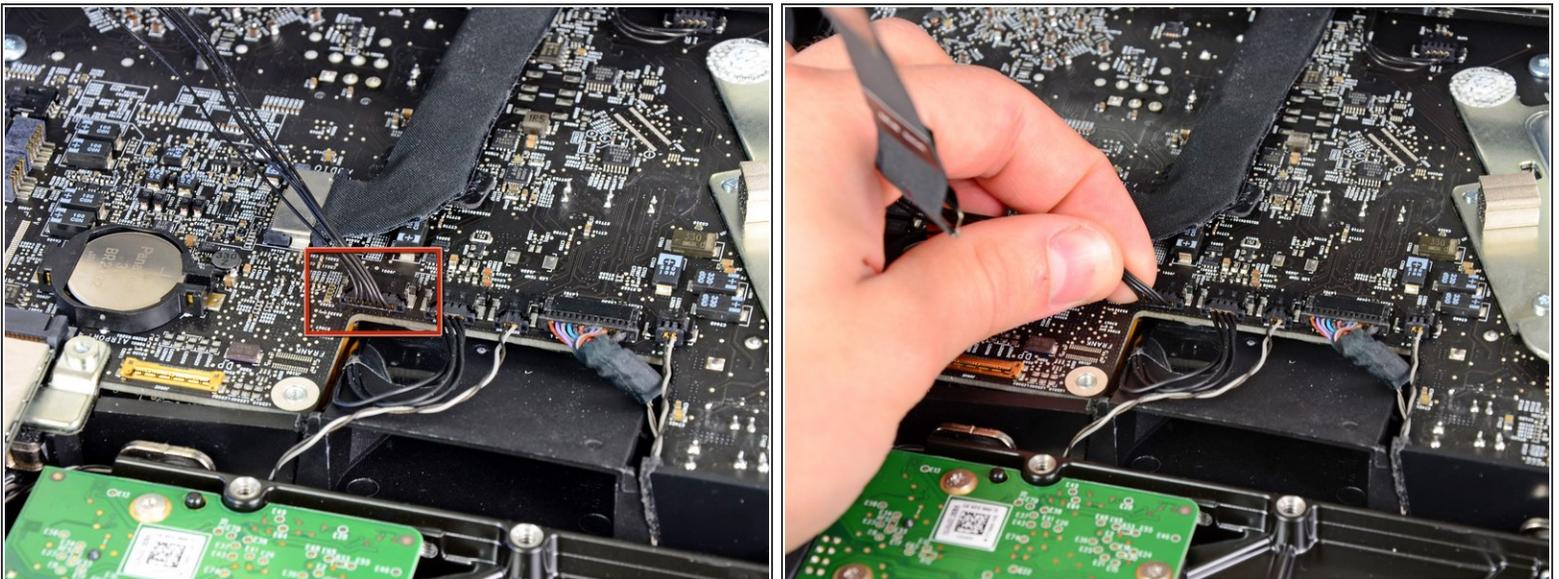
- LEDドライバボードから、LEDバックライトの電源ケーブルの接続を外すため、ディスプレイをアウターケースから回転させて取り出します。
- ① コネクタをソケットから引き離しながら（iMacの下端に向かって）ロック機構を押し下げ、LEDバックライト電源ケーブルの接続を外します。

手順 7



- ディスプレイデータケーブルのロックに固定されたプラスチックのプルタブを掴み、上向きに回転させます。
- ディスプレイデータケーブルを、ロジックボード上のソケットからまっすぐ引き抜きます。
- ⓘ ディスプレイデータケーブルを上向きに引き抜かないでください。このソケットは壊れやすいためです。ケーブルをロジックボードの表面と並行に引っ張ります。

手順 8



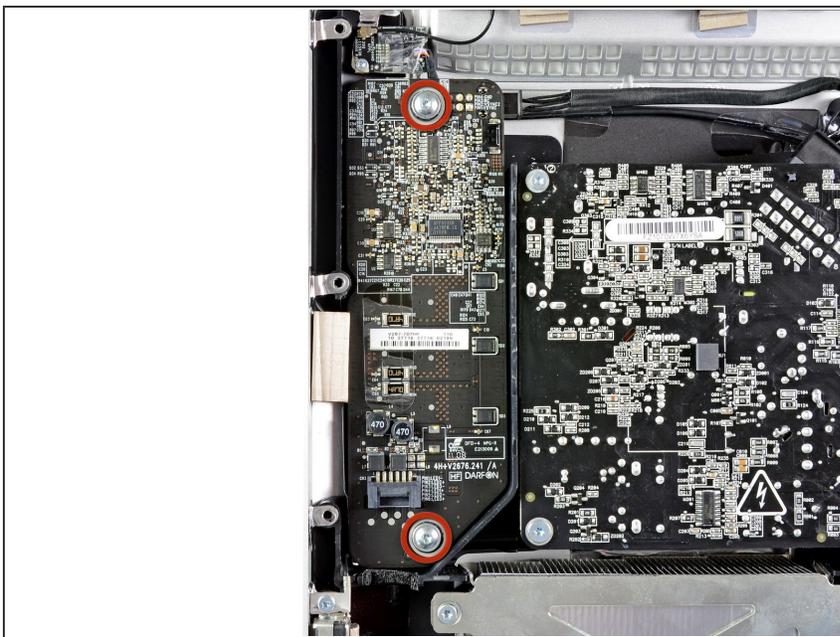
- ロジックボード上のソケットからLCD温度センサーのケーブルコネクタの接続を外します。

手順 9



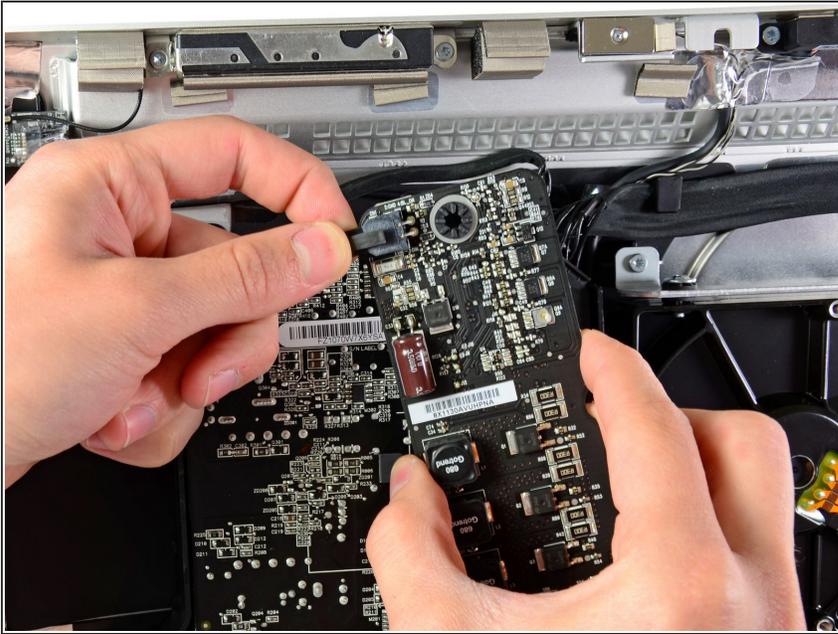
- 慎重にディスプレイをiMac上部端に向けて引き抜き、アウターケースから持ち上げます。ケーブルが巻き込まれないようご注意ください。

手順 10 — LEDドライバーボード



- LEDドライバーボードをアウターケースに固定している 9 mm T10トルクスネジを2本外します。

手順 11



- DC-Inケーブルがパワーサプライに繋がっていることを念頭に置きながら、アウターケースの角からLEDドライバーボードを持ち上げて外します。
- LEDドライバーボード上のソケットからコネクタを引っ張りながら、DC-Inケーブルのロック機構を押し、接続を外します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。